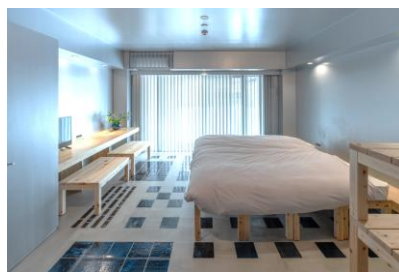


S

SEVEN
STORIES

7組の建築家がつむぐ、 7色の物語（セブンスターリーズ）

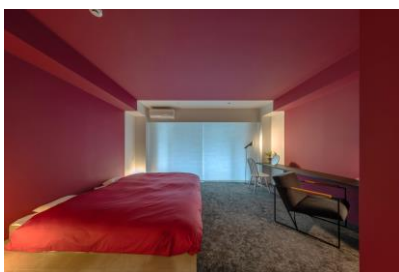
詳しい情報はこちらから
<https://7stories.jp/>



2F

水野太史建築設計事務所
+ 水野製陶園ラボ（水野太史）

常滑焼のタイルを使用。オリジナルのタイルは深い青の色味が特徴的。16台の木製ユニットを自由に組み合わせ、ベッドや机、ベンチなどに使用可能。



3F

rhyme design
(篠元貴之)

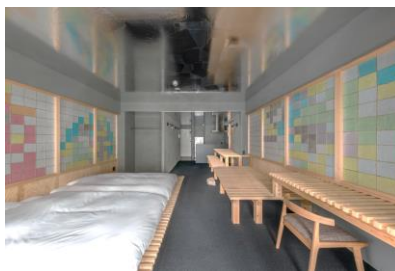
戦前まで盛んに生産されていた、尾張漆器にインスピレーションを受けた葡萄色の部屋。時間の経過と共に光の加減で印象ががらりと変わる。



4F

NIIMORI JAMISON
(新森雄大+ジェームス・ジャミソン)

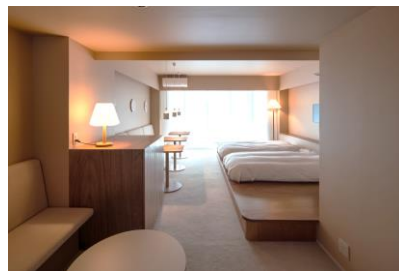
清須市の「曲物」の技術で作られた、室に浮遊する一本の「輪」。照明であり部屋の主役でもある。壁紙は漆を塗った和紙を1枚1枚手貼りで仕上げた。



5F

1-1 Architects/ イチノイチアーキテクト
(神谷勇机+石川翔一)

刈谷市の万燈祭（まんどまつり）をモチーフに竹と色和紙で障子を作成。縁側に似せた設えによって、部屋の中・外の感覚がなくなる不思議な空間。



6F

Matomato
(松田孝平+走川礼奈)

有松絞と、あの「喫茶店」を思わせるソファに囲まれ名古屋文化を満喫。有松絞の柄を3Dスキャンして転写した天板やオリジナルスクリーンなど工夫が随所に。



7F

ZELT
(柴山修平)

愛知に本社をおく家具メーカー・カリモクの家具が主役。都市の中にありながら、まるで森の中のコテージに滞在しているような木質感あふれる部屋。



8F

ambientdesigns
(石黒泰司)

金シャチや秀吉から、名古屋=金をイメージされることも。金色をモチーフに、床と壁柱がつくる多様な居場所。いろいろな使い方ができる創造性あふれる空間。